

○新しい会の姿づくりに意見交換

(京都府京田辺市普賢寺地区第5回連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年2月20日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員5人、委員以外3人
農業会議 多田補佐
山城北農業改良普及センター 寺岸副所長
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 前回話題となったジビエの処理加工施設について、農業会議から情報提供された。
- 現普賢寺地域の農を考える会は、3月中に現役員に集まってもらい解散する。
- 新組織は、農業委員だけの地区連を毎月、認定農家、地域代表を交えた全体会議を年3回程度開催する。
- 新組織は、次世代が農業委員になりたいと思えるような目的、目標を定め、地域だけでは解決できない課題を、普賢寺地区の6区が協力し、お互いをカバーするような活動を行う。

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |